令和3年12月版

寄居町　荒川の洪水対応タイムライン（防災行動計画）

○時間経過、気象・水位情報の発表、台風上陸のタイミング等はあくまで想定であり、事象により異なります。
○寄居町の対応として、推移を基本としつつ、上流部の降雨予報、降雨量、ダムの放流状況等を総合的に勘案し、判断します。
○洪水の発生要因は台風に限りません。　※　**令和元年東日本台風（台風19号）の被災状況を反映し作成**

気象・水象情報

-72h

◇早期注意情報（警報級の可能性）
◇台風予報（随時）
◇台風に関する埼玉県気象情報（随時）
○台風に関する気象庁記者会見

-48h

○台風に関する気象庁記者会見

※通常時 寄居水位
（水位計　－3．3m）水位上昇　0m

-24h

寄居水位観測所
（水位計　－2．8m）
水位上昇　0．5m

◇早期**注意報の発表**

-12h

寄居水位観測所
（水位計　－2．5m）
水位上昇　0．8m

◇大雨（洪水）**注意報の発表**

-8h

寄居水位観測所
（水位計　0．3m）
水位上昇　3．6m

熊谷水位観測所　3．0m

◇**大雨警報・洪水警報発表**

熊谷水位観測所　3．5m

○玉淀ダム放流量　約1t/s

-3h

寄居水位観測所
（水位計　3．3m）
水位上昇　6．6m
熊谷水位観測所　5．0m

○ホットライン（熊谷気象台）
◇**土砂災害警戒情報発表**
○玉淀ダム放流量　約3t/s
◇**大雨特別警報発表**
（土砂災害、浸水害）

-0h

災害発生　床上浸水
寄居水位観測所
（水位計　5．2m）
水位上昇　8．5m
熊谷水位観測所　5．5m

2h

台風接近　上陸

氾濫発生

荒川上流河川事務所 県土整備事務所

○施設（調節池・水門・排水機場等）の点検・操作確認
○災害対策機械の点検・準備
○災害対策用資機材・復旧資機材等の点検・確認
○リエゾン体制の確認
○河川水位、雨量等の監視
○協力機関の体制確認
○水位予測

リエゾン：災害対策現地情報連絡員
CCTV：監視カメラ
TEC-FORC：緊急災害対策派遣隊

熊谷水位観測所　水位基準
レベル1水位　水防団待機　3．00m
レベル2水位　氾濫注意　3．50m
レベル3水位　避難判断　5．00m
レベル4水位　氾濫危険　5．50m

レベル1
消防団
待機水位

【注意体制】

水防警報（待機・準備）

○水門、樋門、排水機場等の操作

レベル2
氾濫注意
水位

洪水予報（氾濫注意情報）

水防警報（出動）

○応援体制の確認・要請（防災エキスパート等）
○出水時点検（巡視）　○水防警報（指示）
○CCTVによる監視強化　○水位予測情報
※氾濫危険水位を超える予測の場合等

レベル3
避難判断
水位

【警戒体制】

洪水予報
（氾濫警戒情報）

○漏水・侵食情報提供
○ホットライン（河川事務所）

【非常体制】

洪水予報（氾濫危険情報）

レベル4
氾濫危険
水位

○緊急速報メール
○リエゾンの派遣

○災害対策機械の派遣

洪水予報（氾濫発生情報）

○緊急速報メール

緊急復旧、堤防調査委員会設置

○記者発表（決壊・氾濫）
○被害状況の把握　○TEC-FORCEの活動
（ヘリコプター等による迅速な状況把握）
○被害状況・調査結果等の公表

寄居町

○気象、水防等に関する情報収集、伝達
○災害備蓄品の確認　○体制の確認等
○消防団等への注意喚起
○洪水浸水想定区域図、ハザードマップの確認、準備
○関係機関、住民への注意喚起

準備体制（警戒準備会議）　警戒レベル1　早期注意情報

○消防団（待機・準備）指示　○職員（待機・準備）指示
○1時間ごとに河川水位、雨量、降水短時間予報を確認
○事業者に洪水予報伝達

日没前、自主避難所開設

警戒体制（災害警戒本部）　警戒レベル2　大雨注意報 洪水注意報

○避難が必要な状況が夜間・早朝の場合は、避難準備情報の発令判断
○河川水位、雨量、降水短時間予報を確認
○巡視・水防活動状況報告

避難所開設準備

非常体制（災害対策本部）　警戒レベル3　高齢者等避難

○防災行政無線、携帯メール等による情報伝達
○首長若しくは代理者の登庁（災対本部設置）
○避難準備・高齢者等避難開始発表の報告
○大雨警報を住民等へ周知
○必要に応じ、助言の要請

避難所開設

警戒レベル4　避難指示

○防災行政無線、携帯メール等による情報伝達
○土砂災害警戒情報を住民等へ周知　○住民等に洪水予報伝達
○避難勧告発表の報告（埼玉県、荒上）　○消防団退避指示
○必要に応じ、災害対策機械の派遣要請
○避難指示発表の報告（埼玉県、荒上）
○必要に応じ、リエゾンの派遣要請

警戒レベル5　緊急安全確保

○防災行政無線、エリアメール等による情報伝達
○避難者への支援
○自衛隊への派遣要請

○被害状況の調査・確認
○避難情報の解除
○災害対策本部の廃止

住民等

○防災グッズの準備
○テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認
○ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
○災害・避難カードの確認
○自宅保全

心構えを高める

○在宅避難、車中泊等の検討
○テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認

ハザードマップ等で避難行動の確認

○自主避難（親戚・友人宅、ホテルなどに避難）準備・開始
○防災無線、携帯メール等による避難準備情報の受信

高齢者・要配慮者は避難を開始

○避難の準備（高齢者等以外）
○避難者は、町職員等と協力し、避難所を開設・運営
○防災無線、携帯メール等による避難指示・避難勧告の受信

速やかに避難開始

○避難者は、町職員等と協力し、避難所を開設・運営

避難完了

命を守るための最善の行動 最終的危険回避行動

○避難できなかった場合垂直避難等命を守る最善の行動

避難解除